

レース報告書

2012年 JAF 地方選手権 F4 東日本シリーズ第6戦

予選2位 決勝3位

参加台数 18台

開催日：10月28日



レーシングドライバー 武平良介

スポンサー様



レンタル、マイカート
KART の事ならお任せ下さい



全国転戦（今期は海外2回を含む）を
するラジコンF1レースの最高峰F1
RCGPの公式タイヤサプライヤの
ZEN



ラジコン・プラモデル専門店
〔ピットイン〕



<http://www.rakuten.co.jp/webaqua/>

ウェブ・アクア (webaqua) の品揃えの中心は、「より美
しく・より健康でありたい貴女や、トップアスリートの
貴方をサポート」をコンセプトに



ORIHIRO

2012年 JAF 地方選手権 F4 東日本シリーズ第6戦 レース報告書

開催日・・・10月28日

場所・・・富士スピードウェイ

天気・・・予選 晴れ、決勝 雨

路面コンディション・・・予選 ドライ、決勝 レイン

公式予選・・・2位

Sunday

順位・・・2位

自己ベスト・・・1分43秒030

ギャップ（1位とのタイム差）

0.578秒

F4 東日本シリーズ 最終戦の公式予選が終了致した。結果は19台中2位。

序盤から終盤にかけて、私と高星選手がお互いのタイムをお互いに毎週更新し、激しいトップ争いだった。私が1分43秒0というレースウィーク中の全体の最速タイムを記録し、その争いには制した。しかし、最後の2周で石川選手が1分42秒4というタイムを叩きだし、ポールポジションとなった。予選後、富士の第2セクターだけで0.6秒ほどの遅れをとっていたことを知らされ、走り・セットを煮詰めればチャンスがあると、私とチームは考えて、予選とは異なる天候で行われるであろう決勝レースに挑んだ。

決勝・・・3位

Sunday

順位・・・3位

自己ベスト・・・1分56秒895

ギャップ（1位との合計タイム差）

15.339秒

決勝レースは天気予報どおり雨の中での勝負となった。チャンピオンを争っている2台、私は2番手からのスタートで対する山口選手は5番手スタートで、この雨は波乱を予想させた。そして迎えた運命のスタート。まず先陣を切ったのは3番手スタートだった高星選手だった。私と石川選手の間をすり抜けトップに浮上。1コーナーで私も石川選手に並びかけるも抜くには至らず3位で1コーナーを通過。その後序盤は3台に渡るバトルが繰り広げられたが、トップ2台のペースについていけず私は3位単独走行に。トップの2台の間隔も徐々に広がり始め、そのままの順位でゴール。私が3位、山口選手は7位でチェッカーを受けたため、東日本シリーズチャンピオンは私、武平良介に決まった。

まとめ

予選では、途中まで私と高星選手が毎週、タイヤが温まっていくごとにそれぞれがタイムアップしていく展開の中、しっかりとミスすることなく毎週相手にプレッシャーを与え、タイムを更新していくことができ、相手よりも好タイムを記録できたので良かったです。

しかし、最後の最後に石川選手に0.5秒も引き離されてしまいました。1つのセクターだけだったので決勝に向けて、または2週間後に同じ富士で開催される JAF GP でのレースに向けて、私とチームと良い方向に話が出来て良かったです。

決勝では天候が雨になり、年間チャンピオンがかかっていた事もあり、少し慎重になってしまいました。これは私のメンタルの弱さだと思います。もっと自信を持って攻めるべきでした。

決勝レース中にファステストラップを狙いアタックをしましたが、それもイマイチ上手く決まらず、アンダーステアのマシンに苦戦し、タイムを上げることが出来ませんでした。一度コースに入るとその状況でトップを取らなければいけないので、どんな状況でも速く走れるように引き出しを増やしていきます。